

ご支援ありがとうございました



おびひろ応援寄附金

～寄附者の皆様へのおたより～

帯広・十勝は少しずつ秋の訪れが感じられる季節となってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、帯広市では、昨年4月に改正された個人住民税の寄附金控除の拡充（いわゆる「ふるさと納税」）に伴い、「おびひろ応援寄附金」として、広く全国の皆様へ、帯広市のまちづくりへのご支援をお願いしてまいりました。

おかげ様をもちまして、多くの方からたくさんのご寄附をお寄せいただきましたことに、心からお礼を申し上げます。

このたび、寄附をいただいた皆様へ、寄附金の受納状況や用途に加え、まちづくりの近況をお知らせするため、このおたよりをお届けしたところです。

今後とも、帯広市のまちづくりを応援していただきますようお願い申し上げます。

平成21年9月

帯広市長 砂川 敏文

寄附金の受納状況

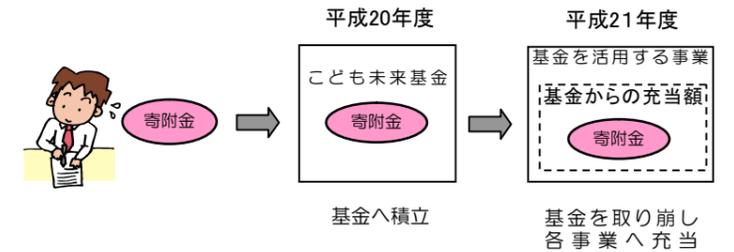
平成20年1月1日から平成21年3月31日までの間に、個人の方から帯広市に対し、91件、1,358万5千円の寄附金をお寄せいただきました。

分野	件数	金額
ばんえい競馬の振興	65件	1,475,000円
保健・福祉施策の推進	7件	9,070,000円
こどもや青少年の健全育成	6件	1,260,000円
商工業や観光の振興	4件	245,000円
屋内スピードスケート場の整備	4件	170,000円
市立図書館の図書整備	2件	1,300,000円
学校教育の振興	2件	60,000円
帯広の森など緑化の推進	1件	5,000円
合計	91件	13,585,000円

平成21年度 寄附金の使途

皆様からお寄せいただいた寄附金は、寄附者のご意向をふまえ、各分野（左頁参照）の基金に積み立てたうえで、平成21年度に以下の事業の財源の一部として、活用させていただきます。なお、図書館の図書整備に對していただいた寄附金のうち、10万（1件）は、寄附者のご意向に沿って平成20年度中に図書の購入に活用させていただきました。

（例）平成20年度にこどもや青少年の健全育成に寄附をした場合



ばんえい競馬の振興

- ばんえい競馬の運営
各種イベントによる普及活動、広告宣伝活動、競馬場の施設整備 など

※ばんえいの振興業務は、オッズパーク・ばんえい・マネジメント（株）に委託

基金を活用する事業費 25,879千円
（うち 基金充当額 25,879千円）

保健・福祉施策の推進

- 高齢者へのインフルエンザ予防接種
- 高齢者や障害者の緊急通報システムの整備
- 高齢者や障害者への理容・クリーニングサービス

ほか2事業

基金を活用する事業費 115,086千円
（うち 基金充当額 42,925千円）

こどもや青少年の健全育成

- こどもの居場所づくり
ボランティアやNPO団体が中心となり、放課後や休日に小学校の特別教室などでの体験の場を開催
- 絵本をとおした親子のふれあい促進
ボランティアによる4カ月児健診終了後に絵本のプレゼントや子育てのアドバイス
- 保育所の整備

ほか6事業

基金を活用する事業費 23,069千円
（うち 基金充当額 12,798千円）

商工業や観光の振興

- 商工業の人材育成
市内の中小企業、個人事業者などを対象に、中小企業大学校などへの研修や、先進地視察などへの費用の一部を補助

基金を活用する事業費 1,000千円
（うち 基金充当額 1,000千円）

屋内スピードスケート場の整備

- 屋内スピードスケート場の整備
電光掲示板の設置
- 屋内スピードスケート場の備品購入
トレーニング機器、コーナーマットなど備品の購入

基金を活用する事業費 307,896千円
（うち 基金充当額 216,252千円）

市立図書館の図書整備

- 図書の購入
様々な分野の学習情報や新しい知識を提供するための図書の購入

基金を活用する事業費 6,394千円
（うち 基金充当額 6,394千円）

学校教育の振興

- 奨学金の貸付
高校生・大学生への奨学金貸付
- 教員の人材育成
教員の資質向上を目指した研修機会・研修活動の支援

ほか3事業

基金を活用する事業費 6,501千円
（うち 基金充当額 6,501千円）

帯広の森など緑化の推進

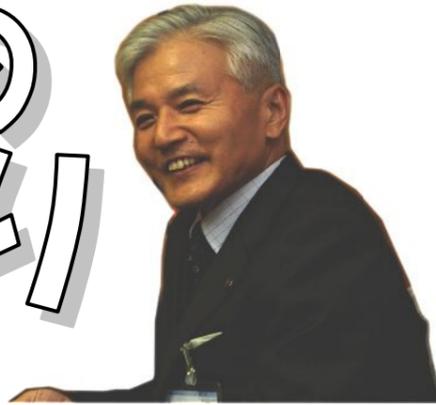
- 帯広の森・はぐくむの建設
帯広の森の育成や利活用を図る拠点施設の整備
- フラワー通りの整備
町内会などの協力のもと、街路樹マスへの花の植栽や清掃管理の実施

ほか3事業

基金を活用する事業費 194,198千円
（うち 基金充当額 70,548千円）

おびひろの まちづくり

近況報告



★ 迫力満点のばんえい十勝、今年で3年目を迎えました

帯広市では、世界で唯一1トンを超える馬が鉄ソリをひく「ばんえい競馬」を開催しています。

帯広市単独開催となって3年目を迎えた今年は、好評の「ナイター競馬」に加え、従来の昼間開催より少し遅い時間からスタートする「薄暮競馬」を開催しています。

また、幅広い年齢層のお客様が楽しく、快適に過ごすことができるように、抽選会や特産品の販売、バックヤードツアーなど多彩な催しのほか、プレミアムラウンジやエキサイティングゾーン、ふれあい動物園など環境整備に取り組み、ばんえい競馬の振興・運営に努めています。



★ 子育てを応援しています



子どもを安心して生み育てることができる環境づくりのため、保育所での多様な保育サービスの提供のほか、子育て支援センターでの育児相談、地域担当保育士や先輩ママさんによる訪問相談などを充実しています。

さらに、お子さんがケガをしたり病気になったときに安心して医療機関で受診できるように、医療費の助成を行っています。平成20年10月からは、6歳までのお子さんの医療費について、自己負担をなくすなど、さらに助成を拡充しています。

★ 新しい総合計画を策定しています

「総合計画」は、帯広市が将来に向かって総合的・計画的にまちづくりをすすめていくための指針として、市民と行政がまちづくりの目標を共有し、市民協働のまちづくりをすすめる役割を果たしています。

第五期帯広市総合計画が平成21年度で終了するため、現在市民の参加や議会での議論をいただきながら、平成22年度スタート予定の新しい総合計画の策定に取り組んでいます。



★ 「田園環境モデル都市・おびひろ」の実現に向けて

平成20年7月、帯広市は国の「環境モデル都市」に選定されました。

環境モデル都市は、地球温暖化の防止に向けて二酸化炭素の大幅な排出削減に取り組む先駆的な自治体で、全国で13自治体が選定されています。

帯広市では、緑のまちづくりや循環型農業の展開、未利用資源・エネルギーの活用、エコな暮らしの推進などをすすめ、市内での二酸化炭素排出量（基準値：平成12年）を、平成42年までに30%以上削減するという目標を設定しています。

環境モデル都市の取り組みは、地域の産業や市民の暮らし方などと大きな関わりがあります。地域全体で取り組みをすすめ、地域の環境を良好に保つとともに産業の発展や快適な生活につなげ、全国や世界へ発信していきます。



★ 屋内スピードスケート場が完成、オープンしました

3年がかりで建設をすすめてきた「[※]明治北海道十勝オーバル（帯広の森屋内スピードスケート場）」が、このほど完成し、9月1日にオープンしました。

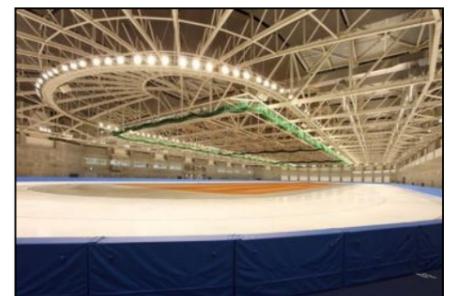
※【施設の愛称】
帯広市と明治乳業が施設命名権について、平成21年4月20日に基本合意

国内で2例目の屋内スピードスケート場（1週400mリンク）は、来年から日本一早いリンクオープンになるほか、観客席とリンクが近く、選手を間近で観戦することができます。

9月1日から21日まで、国のナショナルトレーニングセンターの指定を受け、来年2月のカナダ・バンクーバー冬季オリンピックに向けて、国内の有力選手が練習に訪れています。また、来年1月には、2つのスピードスケートの国際大会が開催されるほか、全国・全道・十勝レベルの約20の大会が9月から来年3月までに開催されます。

リンク内側の中地多目的広場では、天候を気にせず、テニスやフットサルを楽しめます。また、リンクの周りには1周約470mのランニング走路もあります。

1年を通して市民のスポーツ振興と健康増進に役立つ施設として活用していきます。



【お問い合わせはこちらまで】

帯広市 政策推進部 企画課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1
電話：0155-65-4105（企画課直通）
E-mail：plan@city.obihiro.hokkaido.jp